

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会 議 の 名 称	平成29年度 鳥栖市環境審議会		
開 催 日 時	平成30年3月27日(火) 午後2時00分	開 催 場 所	鳥栖市役所2階 第2会議室
出 席 者 数	15人	傍 聴 人 数	0人
議 題	(1) 第2次鳥栖市環境基本計画の進捗状況について (2) 鳥栖市地球温暖化対策実行計画区域施策編について		
配 布 資 料	(1) 資料1：第2次鳥栖市環境基本計画 取組の目標の達成状況 (2) 資料2：平成29年度 鳥栖市環境事業計画書 (3) 資料3：地球温暖化対策実行計画区域施策編 実績報告		
所 管 課	(課名) 環境対策課 (電話番号) 0942-85-3561		

平成29年度 鳥栖市環境審議会

- 【日時】 平成30年3月27日（火） 午後2時00分～午後3時30分
 【場所】 市役所2階第2会議室
 【議題】 ① 第2次鳥栖市環境基本計画の進捗状況について
 ② 鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編 平成28年度 実績報告
 【出席】 11名
 【欠席】 4名
 【事務局】 4名

議 事 録

事務局	<p>— 第2次鳥栖市環境基本計画の進捗状況についての説明 —</p>
A委員	<p>まず、資料①の取組の目標の中で、アンケート結果を基に評価をしている項目がありますが、これはアンケートをした人の感じ方で大きく変わるため、これが市民の満足度を達成できたか否かは一概に言えないと思います。</p> <p>また、特に改善を要する取組の要因と対策において、アンケート対象者に対する対策は評価を上げるための内容になっているのではないのでしょうか。</p> <p>同様に、ごみのリサイクル率の改善について、ごみが減少によってリサイクル率が低下したと記載がありますが、どのようになっているのですか。</p> <p>最後に、資料②の記載の要領が、昨年度と異なっています。昨年度は、当該年度の数値を見て次年度は如何にするかという記載でしたが、今年度は具体的な数値のみ、または実施のみ、の記載になっている理由は何でしょうか？</p>
事務局	<p>川の美しさに関する市民満足度については、ご指摘のとおりと思います。あらゆる機会を通じて、川の美しさ・自然環境について気づいてもらえるような機会を市としても増やしていきたいと思っています。</p> <p>リサイクル率については、ごみを燃やした際に生成されるスラグという物質は資源物になります。ごみが減ったことによって、資源物が減ったためリサイクル率が低下した要因の1つとなっています。加えて、記載のとおり、木くず等の回収量が大きく減ったことも大きなリサイクル率の減少の要因となっています。併せて、資源物の回収量についても、減少傾向にあります。これは、町区で行っているリサイクルの回収量が少しずつ減っており、要因としてはビン・缶が詰め替え容器に移ってきており、資源物の量も減ってきているのではないかと考えています。</p> <p>資料②の目標値が具体的ではない理由は、昨年度に環境基本計画の見直した際に、目標値をどうするかを各課が検討した結果、必ずしも数値をいれることが適切ではないということが挙げられ、数値目標ではなく事業実施となっているところがあります。</p>
B委員	<p>大きなごみに関しては、不法投棄が減ったように感じます。しかしながら、車から捨てられると思われる、アルコール類のごみが道端や側溝に増えているのを感じます。ポイ捨てごみを含めて看板を設置する作業を今後ご協力いただければと思います。</p>
事務局	<p>ポイ捨てごみはなかなか減らない状況ですが、市としても『不法投棄防止の警告看板』を地元の区長さんの要望があれば設置しております。今後とも地元の区長さん・地元の方からの要請があれば設置をしたいと思っています。</p>

A委員	不法投棄を見つけた際は、直接警察に110番に電話してもよろしいですか。
鳥栖警察署	電話をして頂いて構いません。しかし、検挙できるかどうかはケースによります。明らかに車から不法投棄している場合は廃棄物処理法違反になりますので、それは検挙になります。しかし、近年傾向として車の所有者と車に乗車している人が異なるケースが増えてきています。また、固定回線を持っている方も減っており、警察としても簡単には電話番号を調べられないので、苦慮しているところです。
A委員	ただ、警察が電話してくれるだけで効果はあると思います。
鳥栖警察署	警察は警察も携帯電話を簡単には調べることができないのですが、できることだけは行います。
A委員	取組の柱で8項目を上げられていますが、周囲の自治体で良い施策を参考にしてもいいと思うのですが？
事務局	周辺の先進的な取り組みをしている自治体、委員さんの意見を参考にさせて頂きたいと思います。
A委員	参考ですが、私は、弥生が丘の区長会の研修旅行で鶴が集まる出水の中に1つの自治団体の中に30件ぐらいあるのですが、相対的に80%の人達に、電気量の80%を削減する活動を行った1つの自治会があるのを知っています。 鳥栖市でそのような活動をすることにより、環境の改善や環境悪化の防止について連鎖的に起こるのではないかと考えているのですが。
事務局	私どももそのような活動にアンテナを張り巡らし、様々な取り組みの中から実施可能なものを1つでもできればと思います。
A委員	計画は平成33年まで期間があるので、そのようにすれば改善されると思います。
C委員	ミニバスについてお伺いします。私は車に乗れないためミニバスを利用しています。5ページにミニバスを利用すれば環境は改善すると書かれています。私の見たところでは、まだまだ利用者が少ないと感じています。これは声掛けが大事だと思います。近所の方にも補助が出ます、柚比町では手を挙げたらバスが止まるような便利なバスです等、市や住民の方みんなが声掛けをすれば改善するのではと思います。
事務局	市としては、出来るだけ利用が増えるように何度も路線を見直し、今も工夫をしております。そのような意見も踏まえてできる限り利用促進を促さなければならないと考えております。
C委員	年々増えてはいますね。
事務局	そうですね。PR等について担当課と相談していきたいと思います。
C委員	市役所は毎月ノーカーデーをされていますか？

事務局	毎週水曜日に実施しています。私たちも自転車や徒歩等で出勤しています。皆様にも伝わるようにすれば、CO2の削減になると思います。
D委員	私は初めて参加しましたが、市の方が行っていることが市民に伝わっていない、逆に市民が市の行っていることをわかっていない、というのがあります。今の段階でどのようにPRされているのですか。
事務局	市のホームページや市報等で掲載しております。また、路線バス等については全戸配布を行っています。
D委員	利用者がまだまだ少ないということで、私達からすると、まだ字が小さかったり、何を書いているかわからない、読もうという気にならない、そして出したことに満足するのではなく理解してもらえるように工夫をすれば、環境問題やバス利用者の増加になるのではと思っています。もっと意欲的な活動をして下さい。利用しやすいようにしなければ免許を返したくないと思います。環境についても真剣に考えて下さい。私は子育てが終わりましたが、過去に川の水質生物調査のような活動に参加しましたが、どのように環境改善に繋がるかがわかりません。
事務局	水生生物調査は、小さい頃に川の生物を触って感じるにより、川の綺麗さを理解してもらうことを目的としています。これ自体は川が綺麗になるとかならないとかにはなりません、初めの一步だと思っています。 また、水質の調査については、課の方で行っております。また、満足度が上がったから終わりというように考えておりません。高い位置で満足度が維持できるように市で活動しなければならないと思っています。1つの指標としてアンケートを参考にさせて頂いています。
D委員	私は過去に、大木川の水が減り生活用水が流れている様子が映った写真を見て、イメージが湧きました。昔はこのような様子で環境悪化が進めばどのようなになるか、をイメージしやすいものが広報として効果があると思います。
事務局	市は、市民の方と川の清掃等を行い、今の川の状況を知って頂いております。川にごみがある状況を見て頂ければ、そういった機会になると思っています。また、今後増やしていかなければならないと思っています。啓発の方法は色々あるので、委員の皆さんからも提案があれば、継続的にやっていきたいと思っています。
D委員	例えば、鳥栖市で使用している電気量はわかりますか？地域でもわかりませんか。
事務局	わかりません。九州電力に確認すればわかる可能性があります。 市役所の施設は把握しております。しかし、民間等も含めては把握できていません。
D委員	小郡市は資源物を回収して回る日を設けています。鳥栖市は市民が資源物広場に資源物を運んでいます。私は弥生が丘からです。どちらがよいのでしょうか。
B委員	私の町では1カ月に1回、自宅で新聞業者等がペットボトル等を回収してくれます。
A委員	まちづくり推進センターでは段ボールでは持って行ってくれないのですか。

事務局	<p>資源物広場に行けば、常時どなたでも出すことができます。また、各町区に1つ以上の資源物回収団体があります。市全体で93団体あり、子供クラブ・PTA等が定期的に回収しています。市としては、このような団体に奨励金を回収量に応じて出しています。加えて、市内のリサイクル可能な資源物の店頭自主回収をしているチラシとして配っています。このような団体等を利用して資源物等を出して頂ければと思っています。また、回収団体がそれぞれの地域で呼びかけをして頂いていると思います。アルミ缶等は町区の方々の協力を得ながら回収させていただいています。</p> <p>また、資源物を回収してくれている団体の量も年に一度把握をしています。</p>
C委員	<p>袖比町は毎月1日に回収してくれています。</p>
会長	<p>先程、永江委員さんからありましたように、市等で色々な活動をされていますが知らない市民さんもいらっしゃるということですね。</p>
事務局	<p>そうですね、今お聞きしてご存じないという声も大きかったため、市としても資源物の回収についてPRを更にしていかないといけないと思っています。</p>
E委員	<p>私の会社では、セキスイハイム自然塾を開いております。</p> <p>鳥栖市の小学生を対象にして、少年野球やバレーボールチームが参加しています。この塾は、日本で一番に世界各国の野鳥が集まる東与賀海岸で活動しています。</p> <p>現在、佐賀市の環境政策課とコラボレーションをして、野鳥の会や日本自然史の方を紹介して頂いています。今後、鳥栖市とこのような活動をできればと思っています。</p>
事務局	<p>現在、市では鳥栖アウトレットと共催でスポーツGOMI拾いを行っています。</p> <p>同じように、企業さんとコラボレーションができればなと思っていますので、ご相談いただければと思っています。</p>
B委員	<p>啓発運動として、河内とかでヤマメとかを放流していと聞きました。国内種を養殖して年に1回程度で放流したりすると、川を大切にしようという気持ちが増えると思うのですが。</p>
事務局	<p>轟木川は放流しており、今でもフナやコイなどが泳いでおります。そのような取り組みとして、立石町・牛原町の方でされてます。市が直接携わるかは別ですが、継続して実施して頂ければと思います。</p>
事務局	<p>— 鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編 平成28年度 実績報告 —</p>
A委員	<p>CO2の排出量の最新の数値が2014年というのはどうにかありませんか。</p>
事務局	<p>環境省の地球温暖化実行計画の部門別のCO2排出量の現況推計で、公表されている最新のものが2014年となっています。</p> <p>こちらの資料は、市で積算したものではなく、国の方で統計しているものです。</p>
会長	<p>なるほどで、こちらは国が出しているということですね。</p> <p>最新の数値が2014年だと、議論をしたいのですが中々できないですね。</p>

A委員	電力やガソリンなどの数値は出ていますか。
事務局	公表されている数値では載っていません。確認します。
D委員	これは、深刻です。
B委員	京都議定書では、日本は35%削減と大きな声を挙げてやっていました。パリ協定からは、CO2を減らすことしか言っていないような気がします。
会長	先程、深刻です、と言う声がありましたが、自治体の会議でデータがはっきりしていないと地域の方が日々の生活で、どこに気を付けて生活していいかわからないと思います。逆に、鳥栖市から政府の方に要望を出していくのも出来ると思います。
D委員	私は小さな子供たちと多く接する機会が多く、残された子供たちのことを思ってこの会議に参加しました。本当に本気でやらなければ、小さなことの積み上げていかなければ環境が壊れていくと思います。だから、小さなことを積み上げていかなければ、できないと思います。 国から降りてきたものだけに頼るのではなく私達がやっていかないと、と思います。
事務局	そうですね、この数字は鳥栖市の現在の状況を理解する一つの指標になっています。例えば、家庭部門のCO2排出量が増加傾向にあれば、それに対する処置を考えなければなりませんし、産業部門のCO2排出量が増加傾向にあれば、企業の方に呼びかけをする等です。この数値はこのような行動を起こすための指標になっていますので、これを参考にして、対策をしていく必要があると思っています。
D委員	生ごみ処理機の購入の補助についてですが、コンポスト等は土地がある人しかできないため、マンションの方とかはどのように補助を受けられていますか？
事務局	電動生ごみ処理機を使用しています。
D委員	昔、酵母菌で生ごみを変える、クウタクン、っていうもので私が補助の申請を行った際、電動生ごみ処理機か、クウタクンのどちらかにして欲しいと言われました。 質問ですが、なぜこの電動生ごみ処理機とコンポストになったのですか。ミミズを使ったコンポスト等の補助は出ませんか？
事務局	当初はコンポストの助成から始まり、その後電動生ごみ処理機が主流となったため、電動生ごみ処理機を助成することになりました。現在は処理方式に関わらず、全ての生ごみ処理機が補助対象となります。
A委員	全国民に浸透しているCOOLBIZ（クールビズ）や、エアコンの温度を適正にするような活動を続けていくことで我々は貢献できていると思っています。 このような活動は全国民が参加できるシステムです。このような社会現象を起こしていけば、改善すると思うのですが。

D委員	人の意識を変えることは本当に難しいと思います。しかし、人は目標とか競争とかは好きだと思います。昔から考えているのが、町単位で電力使用量を競争するような、活動があれば“電気を消そう”と、家族や地域が行動すると思います。
事務局	考え方として同じなのが、市としてもスポーツGOMI拾いを行っております。また、そのような考えを参考にして、引き続きやっていきたいと思います。
A委員	1つ要望です。月に1日程度でコンビニがごみ拾いのような活動をするように、市から要望して頂けませんか。
事務局	企業さんの中にはそのような活動をしてくださる会社もあります。お約束はできませんが、そのような意見があったということは伝えたいと思います。
A委員	企業さんが活動しているのに、ポイ捨てごみを出す要因となっているコンビニがなぜやっていないのか、という気持ちがあったため言いました。